

えいごか ほんせい かだい 英語科の反省と課題

ねん 1年クラス

ローマ字に入る前までは、英語に対する恐怖心もなく、割とスムーズに進んでいた。教え方がビジュアル的で、声を大きく出したりすることも楽しんでいった。ローマ字に入り、5人ほどがつまずきはじめてきている。(クラス所属) スタッフがなるべくそばについて見守り、助言するようにしていく。

ねん 2年クラス

ほとんどの受講生が英語で名前、出身地、を書けるようになった。また職業についても、彼、彼女は使い分け表現できるようになっている。ただし一部の受講生が、まだ戸惑っている様子が見られる。今後は受講生により分かりやすく授業できるよう、工夫をし、楽しいと思えるよう心がけたいと思う。

ねん 3年クラス

最終目標の英語で日記を書くことに向け、教科書の内容は11月末までに終了できた。音読では大きな声が出ている。日常生活に関する英語表現が増えるたびに、興味・関心を持つ人が増えてつつある。書く作業などでは一人ひとりのペースが違うものの、(クラス所属) スタッフが個別にフォローしていった。冠詞など細かい文法について、若い受講生(授業内容が簡単すぎる?)

たいおう こんご かだい
への対応については今後の課題である。

じっくりクラス

あた じょうこうせい ふたりはい ない ふんいき じゅうし
新しく受講生さんがお二人入られたので、クラス内の雰囲気^{ない ふんいき}を重視する
ないよう えら
内容を選びました。「ハロウィーン」「クリスマス」「花の名前^{はな なまえ}」などです。教科書^{きょうかしよ}
はサブテキストとし、クラスの様子^{ようす み}を見て、別途^{べつと}プリント^{さくせい}を作成しました。

プリントの字^じが小さい^{ちい}とのアンケート^{おお}をいただいたので、大きな字^じで今後^{こんご}は
じゅんび
準備^{じゅんび}します。